

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都東久留米市中央町 2-3-57
園名	こでまり保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

『天気』(4歳児クラス)

<テーマの設定理由>

- ・日々変化する天気について、空を見上げる等興味を示す様子が見られたため。
- ・友達と天気を確認する中で、雲がある、風が吹く、空の色が違うなど興味や疑問に気づくようにする。

2. 活動スケジュール

1. 天気についての図鑑や写真を用意し天気の種類について知る。(10月)
2. 空の色の違いに気づき、タブレットを用いて園庭から写真を撮ってみる。(11月)
3. 散歩に出て、様々な場所から空の写真を撮り、雲の流れを知る。(12月)
4. 電子黒板を使用し、撮った写真を披露しあう。(1月)
5. 自分の想像する空を描いてみる。(2月)
6. 作品展に展示し、1人1人が思い描いた空を見る。(3月)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【環境設定】

- ・クラスで話し合う機会を設け、子どもたちの様々な声を拾えるよう職員の配置を考え配置しメモを取り、活動後職員同士ですり合わせを行った。
- ・1人1人の発言に耳を傾け、興味・関心を広げられるよう配慮した。

【準備物】

- ・図鑑・天気の写真・タブレット・電子黒板・画用紙・絵具・筆・パレット

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・日々クラス内で天気の確認を行っていたことから天気について考えてみると、晴れ、曇り、雨、雲、虹など天気には様々なものがある事を話し合いの中で改めて知った。
- ・図鑑や天気の写真を用いてさらに天気について知る中で、天気によって空の色の違いに気づく。
- ・タブレットを使用し、園庭から好きな空・撮りたい空を撮ってみる。
(毎日お当番の子が写真を撮り、撮りだめる。)
- ・散歩に出かけ、散歩先の空をタブレットで撮ってみる。
- ・電子黒板を使用しクラス全員で撮りためた空を見てみると、天気の違いによって空の色の違いだけでなく、雲が多い、少ない、全くないなど日々変化する空に気づく。
- ・自分の想像する空はどんな色か塗ってみようとした際、クレヨン・色鉛筆・絵具など、なにを使用して表現するかを話し合った。その中で、絵具は色が作れるとの発言があり絵具を使用し1人1人空の色や雲を描いたりと自由に表現をした。
- ・作品展に展示し、1人1人が描いた空を見られるようにし他児の感じる空の色や雲をみる機会を設けた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

身近に感じることの出来る天気をテーマとしたため、想像がしやすかったこともあり、活動を始めた1回目の話し合いから、子どもが感じた事、疑問などを自由に発言する姿が多く見られた。子ども同士で意見を出し合うのは少し難しかったが、子どもたちの発言に対し、保育者が全体に伝わるように仲立ちをするとさらに発言が活発に行えるようになった。

また、空の色を『青い』、『まぶしい』、『キラキラしてる』などの言葉で表現したり、雲の形を見て、『迷路みたい』、『飛行機が雲をだしているんだよ』、『なんで形が全部違うんだろ』、『雲にはのりが入ってるから雲が出てくっつく。そしたら雨が降って虹が出るんだよ』などたくさんの表現方法をしていた。

5. 振り返り<振り返りによって得た先生の気づき>

活動をする前は、意見が出るのだろうかと思う部分もあったが、始まってみると様々な表現の仕方で発言する姿に驚きと1人1人の感じ方の違いにとっても面白さを感じました。空の色を絵具で塗る際には、伸び伸びと色を自分で考えて塗る様子や、色の濃淡を考えながら楽しむ様子が多く見られました。興味や関心、疑問をクラスで相談しながら取り組み、楽しく活動出来ていたなと感じました。

